

7. 各大学提供科目

⑤ 各科目のシラバス

・ 対面授業科目

対面授業(教養)				15001																
授業科目名:キリスト教学 I			担当教員氏名:山根 道公																	
Christian Studies I																				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ																	
<p>【授業の目的】</p> <p>死にたいと思うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望を見出し、その喜びを文学作品に表した人たちがいる。そうした作品にも触れながら、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのようなものなのかを考察する。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を学ぶ。</p> <p>キリスト教の原点であるイエスの生涯とその福音について理解し、またそのために必要なキリスト教の基礎知識を習得する</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 導入：現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち</td> <td>9 北ガラリヤへの逃避行、受難と死の予告</td> </tr> <tr> <td>2 『新約聖書』の構成・風土的背景</td> <td>10 死を覚悟したエルサレムへの旅</td> </tr> <tr> <td>3 イエスの生誕、クリスマスの意味</td> <td>11 エルサレム入城と最後の晩餐</td> </tr> <tr> <td>4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム</td> <td>12 イエスの受難と十字架の死</td> </tr> <tr> <td>5 神の国の福音宣教、公生活の開始</td> <td>13 イエスの復活顕現物語</td> </tr> <tr> <td>6 奇跡物語と慰め物語</td> <td>14 現代人とイエスの福音</td> </tr> <tr> <td>7 イエスの祈り</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争</td> <td>16 期末試験</td> </tr> </table>					1 導入：現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち	9 北ガラリヤへの逃避行、受難と死の予告	2 『新約聖書』の構成・風土的背景	10 死を覚悟したエルサレムへの旅	3 イエスの生誕、クリスマスの意味	11 エルサレム入城と最後の晩餐	4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム	12 イエスの受難と十字架の死	5 神の国の福音宣教、公生活の開始	13 イエスの復活顕現物語	6 奇跡物語と慰め物語	14 現代人とイエスの福音	7 イエスの祈り	15 まとめ	8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争	16 期末試験
1 導入：現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち	9 北ガラリヤへの逃避行、受難と死の予告																			
2 『新約聖書』の構成・風土的背景	10 死を覚悟したエルサレムへの旅																			
3 イエスの生誕、クリスマスの意味	11 エルサレム入城と最後の晩餐																			
4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム	12 イエスの受難と十字架の死																			
5 神の国の福音宣教、公生活の開始	13 イエスの復活顕現物語																			
6 奇跡物語と慰め物語	14 現代人とイエスの福音																			
7 イエスの祈り	15 まとめ																			
8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争	16 期末試験																			
<p>【テキスト】</p> <p>遠藤周作『イエスの生涯』(新潮文庫)</p>																				
<p>【参考図書】</p> <p>『聖書』</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>受講態度・毎回課すリアクションペーパー:45%、期末レポート:55%</p>																				

7. 各大学提供科目

対面授業(教養)				15002
授業科目名:キリスト教学VI			担当教員氏名:原田 豊己	
Christian Studies VI				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	旧・新約聖書を持参すること。
【授業の目的】 新約聖書のギリシア語原文に挑戦する。 原文からの批判的口語訳を行う。また、写本学の入門的なことを解説する。 ギリシア語の発音が出る。				
【授業内容】 マタイ福音書 6章9—13節 「主の祈り」 1 オリエンテーション 9 「主の祈り」の逐語訳 12-13節 2 ギリシア語アルファベット 10 「主の祈り」の構造分析 3 ギリシア語発音 11 「主の祈り」の神学 ① なぜ「天」が複数形か 4 「主の祈り」の原典発音 12 「主の祈り」の神学 ② 「国」か「支配」か 5 「主の祈り」の品詞 9-10節 13 「主の祈り」の神学 ③ 「負債」の連鎖 6 「主の祈り」の品詞 11-12節 14 「主の祈り」の神学 ④ 「主の祈り」の意義 7 「主の祈り」の品詞 13節 15 写本学の基礎 8 「主の祈り」の逐語訳 9-11節 16 定期試験				
【テキスト】 旧・新約聖書(手持ちのもので可)。				
【参考図書】 プリントを配布します。その他授業で指示します。				
【成績評価の方法】 授業への参加度:30%、定期試験:70%				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15003																		
授業科目名:異文化理解 I			担当教員氏名:広瀬 佳司																			
Cross-Cultural Studies I																						
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	予習だけでなくテーマに関する問題を図書館で調べる。																		
【授業の目的】 <p>本年度はユダヤ教・ユダヤ文化がいかにキリスト教の欧米社会を理解するのに有用であるかを、ユダヤ教の基本とキリスト教思想の関係から考察していく。具体的には旧約聖書・新約聖書・欧米の文学を取り上げながら講義を進めていく。</p> <p>到達目標：日本にはあまりなじみがないが、キリスト教を通して日本文化にも大きく影響を与えているユダヤ教やその文化を学ぶことで、異文化への関心・理解を高める。国際社会でコミュニケーションを英語で持つ際に、より深い人間関係を築くための文化背景に関する知識を育てたい。</p>																						
【授業内容】 <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:50%;">1 異文化理解のための基礎</td> <td style="width:50%;">10 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：批判と協調</td> </tr> <tr> <td>2 ホロコーストの歴史</td> <td>11 ユダヤ人の教育</td> </tr> <tr> <td>3 ユダヤ教徒キリスト教の関係</td> <td>12 文化的な価値観</td> </tr> <tr> <td>4 アメリカへのユダヤ移民と同化</td> <td>13 現代アメリカ映画におけるユダヤ的な側面</td> </tr> <tr> <td>5 ノーベル賞作家アイザック・バシエヴィス・シンガーの多文化世界</td> <td>14 現代作家スティーヴ・スターンの世界：ユダヤ民話とアメリカ文学</td> </tr> <tr> <td>6 イディッシュ語とユダヤ移民</td> <td>15 まとめ：異文化理解のための、ユダヤ教とキリスト教の確執とその歴史</td> </tr> <tr> <td>7 イディッシュ語とヘブライ語</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：建国と政治</td> <td>16 テスト</td> </tr> <tr> <td>9 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：ユダヤ人の定義とは？</td> <td></td> </tr> </table>					1 異文化理解のための基礎	10 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：批判と協調	2 ホロコーストの歴史	11 ユダヤ人の教育	3 ユダヤ教徒キリスト教の関係	12 文化的な価値観	4 アメリカへのユダヤ移民と同化	13 現代アメリカ映画におけるユダヤ的な側面	5 ノーベル賞作家アイザック・バシエヴィス・シンガーの多文化世界	14 現代作家スティーヴ・スターンの世界：ユダヤ民話とアメリカ文学	6 イディッシュ語とユダヤ移民	15 まとめ：異文化理解のための、ユダヤ教とキリスト教の確執とその歴史	7 イディッシュ語とヘブライ語		8 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：建国と政治	16 テスト	9 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：ユダヤ人の定義とは？	
1 異文化理解のための基礎	10 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：批判と協調																					
2 ホロコーストの歴史	11 ユダヤ人の教育																					
3 ユダヤ教徒キリスト教の関係	12 文化的な価値観																					
4 アメリカへのユダヤ移民と同化	13 現代アメリカ映画におけるユダヤ的な側面																					
5 ノーベル賞作家アイザック・バシエヴィス・シンガーの多文化世界	14 現代作家スティーヴ・スターンの世界：ユダヤ民話とアメリカ文学																					
6 イディッシュ語とユダヤ移民	15 まとめ：異文化理解のための、ユダヤ教とキリスト教の確執とその歴史																					
7 イディッシュ語とヘブライ語																						
8 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：建国と政治	16 テスト																					
9 イスラエルのユダヤ人とアメリカのユダヤ人：ユダヤ人の定義とは？																						
【テキスト】 <p><必携書> 『ユダヤ世界に魅せられて』 広瀬 佳司, 彩流社</p>																						
【参考図書】																						
【成績評価の方法】 予習 20% 態度 10% 小テスト 30% 最終テスト 40%																						

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15004																
授業科目名:異文化理解Ⅱ				担当教員氏名:広瀬 佳司																
Cross-Cultural Studies Ⅱ																				
履修年次 2~4	2単位	2期	1コマ	必ず予習をすること。無断欠席をしないこと。テーマが広いので、ご自分でテーマに沿った調べを図書館等ですること。																
<p>【授業の目的】 日本ではあまり知られていない、日本の歴史とユダヤ人とのかかわりを中心にして、そうした異文化が日本社会に与えた影響を論じる。それと同時に、ユダヤ人の影響力の結果、いかに欧米社会で日本が好意的に受け入れられているのかも映画も通じてみていく。</p> <p>【到達目標】 前期に続いて、ユダヤ文化を深く知ることで、欧米社会の基本にあるキリスト教精神が日本文化にいかに大きな影響を残しているかを学ぶ。また、英語を通して日本人の不得手な異文化コミュニケーションの力を向上させる。表層的な英語コミュニケーション力だけでなく、真に欧米文化の背景を学ぶことで異文化社会への理解をさらに深める。</p>																				
<p>【授業の内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 異文化理解のための基礎</td> <td>9 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:ユダヤ系アメリカ人の経験する差別の問題</td> </tr> <tr> <td>2 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:ホロコースの実情</td> <td>10 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:宗教と同化の問題</td> </tr> <tr> <td>3 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:映画メディアに見るホロコースト、その問題点。</td> <td>11 「僕たちのアナバナナ」に見るユダヤ教徒とキリスト教の確執と融合</td> </tr> <tr> <td>4 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:人種迫害と異文化理解</td> <td>12 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:ホロコーストの実情</td> </tr> <tr> <td>5 杉原千畝とユダヤ人:杉原千畝とユダヤ人の出会い</td> <td>13 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:戦後アメリカにおける反ユダヤ主義</td> </tr> <tr> <td>6 杉原千畝とユダヤ人:杉原千畝とユダヤ人救済の背景</td> <td>14 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:アメリカ社会との同化・異文化理解</td> </tr> <tr> <td>7 小辻節三とユダヤ人救出補助</td> <td>15 まとめ:異文化理解のための、アメリカ文化・文学におけるホロコーストの意義</td> </tr> <tr> <td>8 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:ユダヤ人の〈聖〉と〈俗〉</td> <td>16 テスト</td> </tr> </table>					1 異文化理解のための基礎	9 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:ユダヤ系アメリカ人の経験する差別の問題	2 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:ホロコースの実情	10 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:宗教と同化の問題	3 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:映画メディアに見るホロコースト、その問題点。	11 「僕たちのアナバナナ」に見るユダヤ教徒とキリスト教の確執と融合	4 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:人種迫害と異文化理解	12 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:ホロコーストの実情	5 杉原千畝とユダヤ人:杉原千畝とユダヤ人の出会い	13 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:戦後アメリカにおける反ユダヤ主義	6 杉原千畝とユダヤ人:杉原千畝とユダヤ人救済の背景	14 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:アメリカ社会との同化・異文化理解	7 小辻節三とユダヤ人救出補助	15 まとめ:異文化理解のための、アメリカ文化・文学におけるホロコーストの意義	8 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:ユダヤ人の〈聖〉と〈俗〉	16 テスト
1 異文化理解のための基礎	9 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:ユダヤ系アメリカ人の経験する差別の問題																			
2 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:ホロコースの実情	10 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:宗教と同化の問題																			
3 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:映画メディアに見るホロコースト、その問題点。	11 「僕たちのアナバナナ」に見るユダヤ教徒とキリスト教の確執と融合																			
4 スピルバーグ監督映画「シンドラーのリスト」を通して学ぶ世界の歴史:人種迫害と異文化理解	12 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:ホロコーストの実情																			
5 杉原千畝とユダヤ人:杉原千畝とユダヤ人の出会い	13 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:戦後アメリカにおける反ユダヤ主義																			
6 杉原千畝とユダヤ人:杉原千畝とユダヤ人救済の背景	14 Cynthia Ozick 著 “The Shawl”のユダヤ人とホロコーストの関係を学ぶ:アメリカ社会との同化・異文化理解																			
7 小辻節三とユダヤ人救出補助	15 まとめ:異文化理解のための、アメリカ文化・文学におけるホロコーストの意義																			
8 フィリップ・ロス “Eli, the Fanatic” を読みユダヤ人のアイデンティティを考察する:ユダヤ人の〈聖〉と〈俗〉	16 テスト																			
<p>【テキスト】 必要資料は授業時にプリント配布</p>																				
<p>【参考図書】 教室で紹介する</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <table border="0"> <tr> <td>予習</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>態度</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>最終テスト</td> <td>40%</td> </tr> </table>					予習	20%	態度	10%	小テスト	30%	最終テスト	40%								
予習	20%																			
態度	10%																			
小テスト	30%																			
最終テスト	40%																			

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15005																
授業科目名:中世文学特講 I			担当教員氏名:木下 華子																	
Special Lecture Mediaeval Japanese Literature I																				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ																	
<p>【授業概要】 中世文学を代表する軍記物語『平家物語』を取り上げる。『平家物語』は、いわゆる源平の合戦と言われる12世紀末の動乱を素材として、平清盛を中心とする平家一門の興亡を描いたものである。作品の魅力の一つとしては、当然、勇壮な合戦場面が挙げられよう。しかし、『平家物語』とは、それ以上に、人がいかに死ぬかという問題と向き合い、その様や覚悟を美しく哀切に語った平家鎮魂の物語であるとも言える。本講義では、中世の人々の死生観を含み込んだ物語として、『平家物語』巻一〜七を味読してみたいと考えている。</p>																				
<p>【授業の目的】 古典作品を理解するために必要な知識や方法を身に付け、各人が自ら問題意識を持ち、作品分析を行うための手掛かりを得てほしい。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 導入・『平家物語』群について</td> <td>9 『平家物語』巻四(2)</td> </tr> <tr> <td>2 『平家物語』巻一(1)</td> <td>10 『平家物語』巻五(1)</td> </tr> <tr> <td>3 『平家物語』巻一(2)</td> <td>11 『平家物語』巻五(2)</td> </tr> <tr> <td>4 『平家物語』巻二(1)</td> <td>12 『平家物語』巻六(1)</td> </tr> <tr> <td>5 『平家物語』巻二(2)</td> <td>13 『平家物語』巻六(2)</td> </tr> <tr> <td>6 『平家物語』巻三(1)</td> <td>14 『平家物語』巻七(1)</td> </tr> <tr> <td>7 『平家物語』巻三(2)</td> <td>15 『平家物語』巻七(2)</td> </tr> <tr> <td>8 『平家物語』巻四(1)</td> <td>(レポート提出)</td> </tr> </table>					1 導入・『平家物語』群について	9 『平家物語』巻四(2)	2 『平家物語』巻一(1)	10 『平家物語』巻五(1)	3 『平家物語』巻一(2)	11 『平家物語』巻五(2)	4 『平家物語』巻二(1)	12 『平家物語』巻六(1)	5 『平家物語』巻二(2)	13 『平家物語』巻六(2)	6 『平家物語』巻三(1)	14 『平家物語』巻七(1)	7 『平家物語』巻三(2)	15 『平家物語』巻七(2)	8 『平家物語』巻四(1)	(レポート提出)
1 導入・『平家物語』群について	9 『平家物語』巻四(2)																			
2 『平家物語』巻一(1)	10 『平家物語』巻五(1)																			
3 『平家物語』巻一(2)	11 『平家物語』巻五(2)																			
4 『平家物語』巻二(1)	12 『平家物語』巻六(1)																			
5 『平家物語』巻二(2)	13 『平家物語』巻六(2)																			
6 『平家物語』巻三(1)	14 『平家物語』巻七(1)																			
7 『平家物語』巻三(2)	15 『平家物語』巻七(2)																			
8 『平家物語』巻四(1)	(レポート提出)																			
<p>【テキスト】 特になし</p>																				
<p>【参考図書】 授業時に適宜紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み方：20% 試験：80%</p>																				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15006																
授業科目名:中世文学特講Ⅱ			担当教員氏名:木下 華子																	
Special Lecture Mediaeval Japanese Literature Ⅱ																				
履修年次 2~4	2単位	2期	1コマ																	
<p>【授業概要】 中世文学を代表する軍記物語『平家物語』を取り上げる。『平家物語』は、いわゆる源平の合戦と言われる12世紀末の動乱を素材として、平清盛を中心とする平家一門の興亡を描いたものである。作品の魅力の一つとしては、当然、勇壮な合戦場面が挙げられよう。しかし、『平家物語』とは、それ以上に、人がいかに死ぬかという問題と向き合い、その様や覚悟を美しく哀切に語った平家鎮魂の物語であるとも言える。本講義では、中世の人々の死生観を含み込んだ物語として、『平家物語』巻八～灌頂巻を味読してみたいと考えている。</p>																				
<p>【授業の目的】 古典作品を理解するために必要な知識や方法を身に付け、各人が自ら問題意識を持ち、作品分析を行うための手掛かりを得てほしい。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table> <tr> <td>1 導入・『平家物語』群について</td> <td>9 『平家物語』巻十一(1)</td> </tr> <tr> <td>2 『平家物語』巻一～七概説</td> <td>10 『平家物語』巻十一(2)</td> </tr> <tr> <td>3 『平家物語』巻八(1)</td> <td>11 『平家物語』巻十一(3)</td> </tr> <tr> <td>4 『平家物語』巻八(2)</td> <td>12 『平家物語』巻十二(1)</td> </tr> <tr> <td>5 『平家物語』巻九(1)</td> <td>13 『平家物語』巻十二(2)</td> </tr> <tr> <td>6 『平家物語』巻九(2)</td> <td>14 『平家物語』灌頂巻(1)</td> </tr> <tr> <td>7 『平家物語』巻十(1)</td> <td>15 『平家物語』灌頂巻(2)</td> </tr> <tr> <td>8 『平家物語』巻十(2)</td> <td>(レポート提出)</td> </tr> </table>					1 導入・『平家物語』群について	9 『平家物語』巻十一(1)	2 『平家物語』巻一～七概説	10 『平家物語』巻十一(2)	3 『平家物語』巻八(1)	11 『平家物語』巻十一(3)	4 『平家物語』巻八(2)	12 『平家物語』巻十二(1)	5 『平家物語』巻九(1)	13 『平家物語』巻十二(2)	6 『平家物語』巻九(2)	14 『平家物語』灌頂巻(1)	7 『平家物語』巻十(1)	15 『平家物語』灌頂巻(2)	8 『平家物語』巻十(2)	(レポート提出)
1 導入・『平家物語』群について	9 『平家物語』巻十一(1)																			
2 『平家物語』巻一～七概説	10 『平家物語』巻十一(2)																			
3 『平家物語』巻八(1)	11 『平家物語』巻十一(3)																			
4 『平家物語』巻八(2)	12 『平家物語』巻十二(1)																			
5 『平家物語』巻九(1)	13 『平家物語』巻十二(2)																			
6 『平家物語』巻九(2)	14 『平家物語』灌頂巻(1)																			
7 『平家物語』巻十(1)	15 『平家物語』灌頂巻(2)																			
8 『平家物語』巻十(2)	(レポート提出)																			
<p>【テキスト】 特になし</p>																				
<p>【参考図書】 授業時に適宜紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み方：20% レポート：80%</p>																				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15007
授業科目名:近代文学特講 I				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture Mediaeval Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	取り扱う作品が指示されたら、必ず読んで授業に臨むこと。 講義形式ではあるが、受講者が自身の考えを述べる機会を随時設けるので、常に自己の考えをノートしておくこと。
【授業の目的】 岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治をとりあげ、その作品を読み深め、作家の特質を考える。その際、時代背景と岡山の風土および作家の作風との関係を考察する。 言語表現の特質を敏感に捉え、読解力を深める。 感性と言語感覚を磨き、その体験を作家の作品研究を深めてゆく思考へとつなげる。 同時代資料を使って、作品の背後の時代状況を押さえることで、作者の作品に込めた思いを解明し、受講者自身が新見を論じられるようになること。				
【授業内容】 1 イントロダクション 2 坪田譲治年譜による作家理解(1) 3 坪田譲治年譜による作家理解(2) 4 作家と時代について 5 作家と明治期の岡山の風土について 6 坪田譲治の作品を読む(1) 7 坪田譲治の作品を読む(2) 8 坪田譲治の作品を読む(3) 9 坪田譲治の作品を読む(4) 10 坪田譲治の作品を読む(5) 11 同時代資料を使った作品読解(1) 12 同時代資料を使った作品読解(2) 13 同時代資料を使った作品読解(3) 14 同時代資料を使った作品読解(4) 15 同時代資料を使った作品読解(5) 16 定期試験(レポート)				
【テキスト】 プリント配付				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 授業中の課題と発言:30%、レポート(1回):70%				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15008
授業科目名:近代文学特講Ⅲ			担当教員氏名:綾目 広治	
Special Lecture Mediaeval Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	テキストをよく読むこと
【授業の目的】 日本近代文学史の中で反骨の姿勢を堅持した文学者について、また文学の上で女性、老いの問題がどう扱われてきたかについて考察し、日本近代の文学および思想についての理解を深める。				
【授業内容】				
1 導入		9	〈原文〉と〈語り〉	
2 永井荷風の反軍姿勢		10	内田百閒—老いと笑い 1	
3 賀川豊彦の思想 1		11	内田百閒—老いと笑い 2	
4 賀川豊彦の思想 2		12	井上靖の恋愛小説	
5 森元厚吉の先駆性 1		13	梅崎春生の笑い	
6 森元厚吉の先駆性 2		14	柴田錬三郎の剣豪小説	
7 太宰治文学の中の女性たち 1		15	まとめ	
8 太宰治文学の中の女性たち 2		16	試験	
【テキスト】 綾目 広治著 『反骨と変革 日本近代文学と女性・老い・格差』 (御茶の水書房)				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 出席:20点、筆記試験:80点				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15009	
授業科目名:日本語学特講 I			担当教員氏名:尾崎 喜光		
Special Lecture on Japanese Language I					
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ		
<p>【授業の目的】</p> <p>一口に日本語と言っても一様ではない。特に日常の話し言葉においては、性差、年齢差、地域差等の多様性が顕著に認められる。</p> <p>言葉の多様性には、言語使用場面と連動する面もある。すなわち、相手や状況によっても使う表現は多様である。敬語の使い分けはその典型だが、共通語化の過程における方言と共通語の使い分けもそうした現象の一つである。</p> <p>こうした多様性を持ちながら、日本語は現在も変化を続け、動態を示している。その言葉の動態には、社会全体としてのレベルだけでなく、個人のレベルにおいても「加齢変化」として認められる。以上は言語使用の多様性だが、言語意識にも多様性が認められる。ある地域ではごく普通の表現であっても、別の地域の人にとっては特別なニュアンスで感じられる場合もある。言語行動については異言語間でも同様の現象が認められる。</p> <p>本講義では、講師自身がこれまでたずさわった調査研究の中から、こうした現象に関する研究成果を紹介する。</p>					
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 言葉の男女差(1) 2 言葉の男女差(2) 3 言葉の男女差(3) 4 敬語の使い分け(1)－「学校の中の敬語」調査から－ 5 敬語の使い分け(2)－「東京調査」から－ 6 敬語の使い分け(3)－「岡崎調査」から－ 7 方言と共通語化 8 方言と共通語の使い分け(1) 9 方言と共通語の使い分け(2) 10 日本語の動態(1)－全国多人数調査から－ 11 日本語の動態(2)－全国多人数調査から－ 12 言葉の加齢変化(1) 13 言葉の加齢変化(2) 14 対人意識と言語行動に関する日韓対照(1) 15 対人意識と言語行動に関する日韓対照(2) 					
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>					
<p>【参考図書】</p> <p>なし(授業の中で紹介します)</p>					
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業への参加姿勢:30%(毎回行なう小テストを含む)</p> <p>レポート:70%</p>					

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15010																
授業科目名:社会心理学				担当教員氏名:中山 ちなみ																
Social Psychology																				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	授業で紹介した概念や研究成果をただ覚えるのではなく、それらの概念を用いることによって、身の周りのどのような問題が分析・説明できるのかということを考えながら、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。																
<p>【授業の目的】 社会心理学における基礎概念や重要研究を解説・紹介し、具体的な事例と関連させながら、人間関係や社会事象について考察してゆく。この考察を通して、「社会的存在」としての人間の意識や行動が、どのように形成され、どのような社会的現象となって現れるのか、そのメカニズムを理解し、人間と社会への洞察を深める。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 インTRODダクシヨン</td> <td>9 態度の一貫性(2)</td> </tr> <tr> <td>2 社会の中の「私」</td> <td>10 対人魅力(1)</td> </tr> <tr> <td>3 自我の二側面</td> <td>11 対人魅力(2)</td> </tr> <tr> <td>4 行為と意識</td> <td>12 援助行動</td> </tr> <tr> <td>5 行為の意図せざる帰結(1)</td> <td>13 リーダーシップ</td> </tr> <tr> <td>6 行為の意図せざる帰結(2)</td> <td>14 社会的ジレンマ</td> </tr> <tr> <td>7 欲求</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 態度の一貫性(1)</td> <td>16 定期試験</td> </tr> </table>					1 インTRODダクシヨン	9 態度の一貫性(2)	2 社会の中の「私」	10 対人魅力(1)	3 自我の二側面	11 対人魅力(2)	4 行為と意識	12 援助行動	5 行為の意図せざる帰結(1)	13 リーダーシップ	6 行為の意図せざる帰結(2)	14 社会的ジレンマ	7 欲求	15 まとめ	8 態度の一貫性(1)	16 定期試験
1 インTRODダクシヨン	9 態度の一貫性(2)																			
2 社会の中の「私」	10 対人魅力(1)																			
3 自我の二側面	11 対人魅力(2)																			
4 行為と意識	12 援助行動																			
5 行為の意図せざる帰結(1)	13 リーダーシップ																			
6 行為の意図せざる帰結(2)	14 社会的ジレンマ																			
7 欲求	15 まとめ																			
8 態度の一貫性(1)	16 定期試験																			
<p>【テキスト】 テキストは指定しない。ほぼ毎回プリントを配布する。</p>																				
<p>【参考図書】 講義時間中に随時紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 定期試験:85%、授業への取り組み度:15%</p>																				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15011																
授業科目名:社会集団・組織論			担当教員氏名:濱西 栄司																	
Social Groups and Organizations																				
履修年次 2~4	2単位	2期	1コマ																	
<p>【授業の目的】</p> <p>本授業の主な目的は、社会学の基礎理論の一つである「社会集団・組織論」の理解を通して、現代社会を捉えるための基本的な視座や技法を修得することにある。</p> <p>授業の前半では、経済・政治をめぐる代表的な集団・組織（企業や協同組合、行政組織など）を、その近現代史と絡めつつ学ぶ。後半では、多様な社会現象を、集団・組織の戦略的活動や組織間の複雑な関係（協調・統合・隔絶・対立関係など）の現れとして分析していくための基本的な視座・技法を修得していく。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 オリエンテーション</td> <td>9 グローバル・ガバナンス</td> </tr> <tr> <td>2 類型とアソシエーション</td> <td>10 社会組織の研究(1):歴史から現在へ</td> </tr> <tr> <td>3 会社の近現代史</td> <td>11 社会組織の研究(2):全体像、及び一般理論(前半)</td> </tr> <tr> <td>4 企業倫理とCSR</td> <td>12 社会組織の研究(3):一般理論(後半)</td> </tr> <tr> <td>5 同業/労働組合の近現代史</td> <td>13 社会組織の研究(4):部分理論</td> </tr> <tr> <td>6 市場・雇用をめぐる組織連関</td> <td>14 社会組織の研究(5):問題から</td> </tr> <tr> <td>7 法・権力をめぐる組織連関</td> <td>15 まとめとこれから</td> </tr> <tr> <td>8 国民国家の形成と政治</td> <td>期末レポート提出</td> </tr> </table>					1 オリエンテーション	9 グローバル・ガバナンス	2 類型とアソシエーション	10 社会組織の研究(1):歴史から現在へ	3 会社の近現代史	11 社会組織の研究(2):全体像、及び一般理論(前半)	4 企業倫理とCSR	12 社会組織の研究(3):一般理論(後半)	5 同業/労働組合の近現代史	13 社会組織の研究(4):部分理論	6 市場・雇用をめぐる組織連関	14 社会組織の研究(5):問題から	7 法・権力をめぐる組織連関	15 まとめとこれから	8 国民国家の形成と政治	期末レポート提出
1 オリエンテーション	9 グローバル・ガバナンス																			
2 類型とアソシエーション	10 社会組織の研究(1):歴史から現在へ																			
3 会社の近現代史	11 社会組織の研究(2):全体像、及び一般理論(前半)																			
4 企業倫理とCSR	12 社会組織の研究(3):一般理論(後半)																			
5 同業/労働組合の近現代史	13 社会組織の研究(4):部分理論																			
6 市場・雇用をめぐる組織連関	14 社会組織の研究(5):問題から																			
7 法・権力をめぐる組織連関	15 まとめとこれから																			
8 国民国家の形成と政治	期末レポート提出																			
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>																				
<p>【参考図書】</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>リフレクションシート:20%, 確認テスト:30%, 期末レポート:50%</p>																				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15012																
授業科目名:地域社会学			担当教員氏名:二階堂 裕子																	
Regional and Community Sociology																				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	日頃から新聞をよく読み、地域社会の動向に関心をもつこと。																
【授業の目的】 この授業では、まず、私たちが日常生活を営む地域社会というものの捉え方やその成り立ちについて説明する。その上で、戦後の高度成長期を経て、日本の地域社会がどのような問題に直面するようになったのかを述べる。さらに、少子高齢化、急激な景気悪化、グローバル化などの社会変動が今日の地域社会にどのような影響を与えているのかについて考察する。 以上を通して、学生が地域社会の諸問題に対する理解と関心を深めることが本授業のねらいである。これに加えて、自らを地域社会の一員として認識し、今後どのような地域貢献が求められるかを考え、それを実行しようとする姿勢を養いたい。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 地域社会とコミュニティ</td> <td>9 高齢化と地域社会</td> </tr> <tr> <td>2 コミュニティ問題の登場</td> <td>10 中山間地域における過疎化</td> </tr> <tr> <td>3 都市化と地域社会における変容</td> <td>11 地方都市の衰退と再生</td> </tr> <tr> <td>4 町内会とコミュニティ形成</td> <td>12 インナーシティ問題の発生</td> </tr> <tr> <td>5 コミュニティ活動における自治体・住民・NPOの関係</td> <td>13 安全・安心な生活と地域社会</td> </tr> <tr> <td>6 コミュニティ・センター</td> <td>14 グローバル化と地域社会</td> </tr> <tr> <td>7 コミュニティ活動</td> <td>15 多民族・多文化化とコミュニティ形成</td> </tr> <tr> <td>8 子育てと地域社会</td> <td>16 期末試験</td> </tr> </table>					1 地域社会とコミュニティ	9 高齢化と地域社会	2 コミュニティ問題の登場	10 中山間地域における過疎化	3 都市化と地域社会における変容	11 地方都市の衰退と再生	4 町内会とコミュニティ形成	12 インナーシティ問題の発生	5 コミュニティ活動における自治体・住民・NPOの関係	13 安全・安心な生活と地域社会	6 コミュニティ・センター	14 グローバル化と地域社会	7 コミュニティ活動	15 多民族・多文化化とコミュニティ形成	8 子育てと地域社会	16 期末試験
1 地域社会とコミュニティ	9 高齢化と地域社会																			
2 コミュニティ問題の登場	10 中山間地域における過疎化																			
3 都市化と地域社会における変容	11 地方都市の衰退と再生																			
4 町内会とコミュニティ形成	12 インナーシティ問題の発生																			
5 コミュニティ活動における自治体・住民・NPOの関係	13 安全・安心な生活と地域社会																			
6 コミュニティ・センター	14 グローバル化と地域社会																			
7 コミュニティ活動	15 多民族・多文化化とコミュニティ形成																			
8 子育てと地域社会	16 期末試験																			
【テキスト】 特に使用しない。																				
【参考図書】 講義中に適宜資料を配布するほか、参考書なども紹介する。																				
【成績評価の方法】 リアクションペーパー(講義で学んだことや意見):30%、期末試験:70% ※試験をレポートに変更する可能性もある。																				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15013																
授業科目名:ジェンダー論				担当教員氏名:山下 美紀																
Gender Studies																				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	内容に即して、外部講師による特別講義を行うことがある。 講義中心であるが、グループ討議や発表もありうる。																
【授業の目的】 本講義では、日常生活において自明視されている「ジェンダー」や「性」にまつわるさまざまな常識を、いまいちど検討しなおしていく。 ジェンダー問題を自分にひきつけて考えていく力を身につけてもらいたい。日常生活にあふれているさまざまなジェンダー秩序に気づき、そこに含まれている問題点を整理し、解決の方策を考える、といった力の習得を目指す。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 「ジェンダー」学問領域の誕生と発展</td> <td>9 女性の労働と職場環境</td> </tr> <tr> <td>2 ジェンダー論の基礎① フェミニズムの歴史</td> <td>10 教育におけるジェンダートラック</td> </tr> <tr> <td>3 ジェンダー論の基礎② 性の二分法</td> <td>11 メディアとジェンダー</td> </tr> <tr> <td>4 ジェンダー論の基礎③ジェンダーをめぐる身体</td> <td>12 男性学と女性学</td> </tr> <tr> <td>5 ジェンダーの社会的構築</td> <td>13 ジェンダー研究の紹介①</td> </tr> <tr> <td>6 ジェンダー秩序とジェンダー体制</td> <td>14 ジェンダー研究の紹介②</td> </tr> <tr> <td>7 ジェンダーの再生産過程</td> <td>15 現代社会とジェンダー</td> </tr> <tr> <td>8 家族間葛藤とジェンダー</td> <td>16 期末筆記試験</td> </tr> </table>					1 「ジェンダー」学問領域の誕生と発展	9 女性の労働と職場環境	2 ジェンダー論の基礎① フェミニズムの歴史	10 教育におけるジェンダートラック	3 ジェンダー論の基礎② 性の二分法	11 メディアとジェンダー	4 ジェンダー論の基礎③ジェンダーをめぐる身体	12 男性学と女性学	5 ジェンダーの社会的構築	13 ジェンダー研究の紹介①	6 ジェンダー秩序とジェンダー体制	14 ジェンダー研究の紹介②	7 ジェンダーの再生産過程	15 現代社会とジェンダー	8 家族間葛藤とジェンダー	16 期末筆記試験
1 「ジェンダー」学問領域の誕生と発展	9 女性の労働と職場環境																			
2 ジェンダー論の基礎① フェミニズムの歴史	10 教育におけるジェンダートラック																			
3 ジェンダー論の基礎② 性の二分法	11 メディアとジェンダー																			
4 ジェンダー論の基礎③ジェンダーをめぐる身体	12 男性学と女性学																			
5 ジェンダーの社会的構築	13 ジェンダー研究の紹介①																			
6 ジェンダー秩序とジェンダー体制	14 ジェンダー研究の紹介②																			
7 ジェンダーの再生産過程	15 現代社会とジェンダー																			
8 家族間葛藤とジェンダー	16 期末筆記試験																			
【テキスト】 なし																				
【参考図書】 参考文献・資料等については講義中に指示する。																				
【成績評価の方法】 出席状況および受講態度はもちろんのこと、複数回の課題提出を求め、成績に反映させる。期末時には筆記試験を行う。 課題提出：20%、中間試験：20%、期末筆記試験：60%																				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15014
授業科目名:アジア社会史 I			担当教員氏名:鈴木 真	
History of Asian Society I				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本講義では、前近代中国の漢人社会・文化の特徴について、千数百年続けられた科挙を主たるテーマとして講義する。当時を生きた人びとが、どのような社会のしくみの中で、どのような文化をいとなんでいたのかを理解する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中国社会における王朝と民衆とのかかわり 2 県と郷村 3 中国における官僚登用の歴史 (1) ——漢 4 中国における官僚登用の歴史 (2) ——魏晋 5 中国における官僚登用の歴史 (3) ——隋唐 6 中国における官僚登用の歴史 (4) ——宋 7 科挙合格と官僚任官 8 士大夫の理念 9 民衆と胥吏 10 科挙合格までの長い道のり 11 科挙の盛行と宗族の発展 12 宗祠・族譜・義荘 13 科挙と移住 14 科挙の廃止と近代中国 15 まとめ 16 期末試験 				
<p>【テキスト】 使用しない。講義中に資料を配付する。</p>				
<p>【参考図書】 講義中に紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 学期末テスト:90% 小テスト・レポート:10%</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15015
授業科目名:考古学 I			担当教員氏名:紺谷亮一	
Archaeology I				
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ	国内外の考古学のニュース・文献等に関心を持つよう心がけること。
<p>【授業の目的】 考古学についての基本的な方法論を理解し, そのための知識を習得する。</p>				
<p>【授業内容】 1 講義概要 2 考古資料とは 3 考古資料の評価 4 考古学の年代 5 分布論 6 考古学と民族学・民俗学 7 文献資料と考古資料 8 日本近代考古学の始まるころ 9 魏志倭人伝とは 10 魏志倭人伝の内容考察 11 魏志倭人伝の考古学的評価 12 発掘調査とは 13 発掘調査の方法と意義 14 考古学と現代 15 総括 16 定期試験</p>				
<p>【テキスト】 (必携書, 教科書販売) 『考古学への案内』, 金関恕・春成秀爾編, 岩波書店, 2014年 『魏志倭人伝の考古学』, 佐原真著, 岩波現代文庫, 2003年</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 発表 25%, 授業への取り組み態度 25%, 定期試験 50%</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15016
授業科目名:社会史特講Ⅱ			担当教員氏名:藤實 久美子	
History of Japanese Society Ⅱ				
履修年次 2～4	2単位	2期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業の冒頭では、日本近世における書籍文化の特徴と展開について多角的に論じる。 本授業の第2回以降では、武家の名鑑であった武鑑の分析を中心に据えながら、日本近世の社会状況と出版文化の展開について明らかにする。 最後に、幕末維新という社会変動を本屋たちはいかにして乗り越えたのか。また明治20年代に旧来の本屋たちの多くは、なぜ廃業の道を選択したのかについて考える。</p>				
<p>【授業内容】 1 書籍研究の可能性—本講座のねらい— 2 武鑑の基礎 3 武鑑の板面を読む、板元の工房 4 武鑑出版の始まり 5 板元たちの工夫(1) 6 板元たちの工夫(2) 7 出版界の伸長と秩序化 8 小括と小テスト 9 出版手続きと板株のしくみ 10 宝暦期の公事相論 11 略武鑑株をめぐる争い 12 文政期の「八の武鑑」 13 天保改革と書物師出雲寺の計略 14 武鑑編集と顧客・武家 15 幕府倒壊と武鑑出版の終焉 16 定期試験</p>				
<p>【テキスト】 藤實久美子『江戸の武家名鑑』吉川弘文館、2008年</p>				
<p>【参考図書】 なし</p>				
<p>【成績評価の方法】 リアクションペーパー(20%)・2回のテスト(80%)によって総合的に評価する。</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15017
授業科目名:人文地理学			担当教員氏名:河合保生	
Human Geography				
履修年次 1~4	2単位	2期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>地理学における現代的課題を題材とし、それらに対応する新たな地理学からの視点や研究方法を学ぶ。人文地理学各分野の研究内容についての基礎的知識と研究方法を習得し、地理的見方や考え方の能力を伸長するとともに、地域研究や社会人として必要な資料収集及び分析方法の基礎的素養を獲得する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人文地理学 2 地形図からみる人間生活 3 人口地理学 4 都市地理学 5 郊外化と大都市圏 6 商業地理学—小売業— 7 サービス業の地理 8 観光地理学 9 交通地理学 10 工業地理学 11 国土政策と都市政策 12 エネルギー・資源問題 13 地域調査の方法 14 人文地理学の諸問題 15 人文地理学研究の実際 16 定期試験 				
<p>【テキスト】 (必携書, 初回授業前に販売)</p> <p>・稲垣 稜著『現代社会の人文地理学』, 古今書院</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>・授業時に指示する。なお、地図帳(高校で使用したものでよい)を併用する。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>・授業への取り組み態度 20%, 課題レポート 20%, 定期試験 60%</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15018		
授業科目名:社会倫理学 I			担当教員氏名:葛生 栄二郎			
Social Ethics I						
履修年次 1~4	2単位	2期	1コマ			
<p>【授業の目的】 「いのち」をめぐる争われる様々な問題を、法学的な視点、倫理的な視点の双方から検討する。Iでは、ことに、生命の誕生を問題とする。 現在の生命科学・生命倫理の最新状況を把握すること。法的な視点と倫理的な視点との違いを理解すること。</p>						
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>I イントロダクション</p> <p>①今、なぜ「いのち」の倫理が問われるのか</p> <p>②様々な生命観(1) -西洋的生命観と東洋的生命観</p> <p>③様々な生命観(2) -宗教的生命観と功利主義的生命観</p> <p>II 人工生殖</p> <p>1 ④人工授精の倫理問題</p> <p>2 ⑤人工授精の法律問題</p> <p>3 ⑥体外受精</p> <p>4 ⑦代理母契約</p> <p>5 ⑧クローン生殖</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>III人工妊娠中絶</p> <p>1 ⑨中絶の倫理 (1)-Pro-Life と Pro-Choice</p> <p>⑩中絶の倫理 (2)-中絶をめぐる歴史</p> <p>2 ⑪各国の中絶法</p> <p>3 ⑫母体保護法と堕胎罪</p> <p>4 ⑬パーソン論</p> <p>IV子殺し</p> <p>1 ⑭間引きと嬰兒殺</p> <p>⑮テスト</p> <p>Vテスト</p> <p>⑯総括</p> </td> </tr> </table>					<p>I イントロダクション</p> <p>①今、なぜ「いのち」の倫理が問われるのか</p> <p>②様々な生命観(1) -西洋的生命観と東洋的生命観</p> <p>③様々な生命観(2) -宗教的生命観と功利主義的生命観</p> <p>II 人工生殖</p> <p>1 ④人工授精の倫理問題</p> <p>2 ⑤人工授精の法律問題</p> <p>3 ⑥体外受精</p> <p>4 ⑦代理母契約</p> <p>5 ⑧クローン生殖</p>	<p>III人工妊娠中絶</p> <p>1 ⑨中絶の倫理 (1)-Pro-Life と Pro-Choice</p> <p>⑩中絶の倫理 (2)-中絶をめぐる歴史</p> <p>2 ⑪各国の中絶法</p> <p>3 ⑫母体保護法と堕胎罪</p> <p>4 ⑬パーソン論</p> <p>IV子殺し</p> <p>1 ⑭間引きと嬰兒殺</p> <p>⑮テスト</p> <p>Vテスト</p> <p>⑯総括</p>
<p>I イントロダクション</p> <p>①今、なぜ「いのち」の倫理が問われるのか</p> <p>②様々な生命観(1) -西洋的生命観と東洋的生命観</p> <p>③様々な生命観(2) -宗教的生命観と功利主義的生命観</p> <p>II 人工生殖</p> <p>1 ④人工授精の倫理問題</p> <p>2 ⑤人工授精の法律問題</p> <p>3 ⑥体外受精</p> <p>4 ⑦代理母契約</p> <p>5 ⑧クローン生殖</p>	<p>III人工妊娠中絶</p> <p>1 ⑨中絶の倫理 (1)-Pro-Life と Pro-Choice</p> <p>⑩中絶の倫理 (2)-中絶をめぐる歴史</p> <p>2 ⑪各国の中絶法</p> <p>3 ⑫母体保護法と堕胎罪</p> <p>4 ⑬パーソン論</p> <p>IV子殺し</p> <p>1 ⑭間引きと嬰兒殺</p> <p>⑮テスト</p> <p>Vテスト</p> <p>⑯総括</p>					
<p>【テキスト】 葛生栄二郎・河見誠・伊佐智子『新・いのちの法と倫理』法律文化社</p>						
<p>【参考図書】 なし</p>						
<p>成績評価の方法】 受講態度:30点、テスト:70点</p>						

7. 各大学提供科目

対面授業(専門)				15019		
授業科目名:社会倫理学Ⅱ			担当教員氏名:葛生 栄二郎			
Social Ethics Ⅱ						
履修年次 2~4	2単位	1期	1コマ			
【授業の目的】 「いのち」をめぐる争われる様々な問題を、法学的な視点、倫理的な視点の双方から検討する。Ⅱでは、ことに、生命の終焉を問題とする。 現在の生命科学・生命倫理の最新状況を把握すること。法的な視点と倫理的な視点との違いを理解すること。						
【授業内容】 <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> I 死刑制度 1 ①死刑の実態 2 ②死刑は許されるのか II 自殺 1 ③自殺という現象 2 ④自殺の倫理問題 3 ⑤自殺の法律問題 III 安楽死・尊厳死 1 ⑥安楽死の種類 2 ⑦安楽死と尊厳死 3 ⑧安楽死の倫理 4 ⑨安楽死・尊厳死判例 5 ⑩安楽死法 </td> <td style="vertical-align: top;"> IV 脳死と臓器移植 1 ⑪「死ぬ」ということ 2 ⑫脳死の定義 3 ⑬臓器移植法 4 ⑭脳死移植と生命観 ⑮テスト V テスト 1 ⑯総括 </td> </tr> </table>					I 死刑制度 1 ①死刑の実態 2 ②死刑は許されるのか II 自殺 1 ③自殺という現象 2 ④自殺の倫理問題 3 ⑤自殺の法律問題 III 安楽死・尊厳死 1 ⑥安楽死の種類 2 ⑦安楽死と尊厳死 3 ⑧安楽死の倫理 4 ⑨安楽死・尊厳死判例 5 ⑩安楽死法	IV 脳死と臓器移植 1 ⑪「死ぬ」ということ 2 ⑫脳死の定義 3 ⑬臓器移植法 4 ⑭脳死移植と生命観 ⑮テスト V テスト 1 ⑯総括
I 死刑制度 1 ①死刑の実態 2 ②死刑は許されるのか II 自殺 1 ③自殺という現象 2 ④自殺の倫理問題 3 ⑤自殺の法律問題 III 安楽死・尊厳死 1 ⑥安楽死の種類 2 ⑦安楽死と尊厳死 3 ⑧安楽死の倫理 4 ⑨安楽死・尊厳死判例 5 ⑩安楽死法	IV 脳死と臓器移植 1 ⑪「死ぬ」ということ 2 ⑫脳死の定義 3 ⑬臓器移植法 4 ⑭脳死移植と生命観 ⑮テスト V テスト 1 ⑯総括					
【テキスト】 葛生栄二郎・河見誠・伊佐智子『新・いのちの法と倫理』法律文化社						
【参考図書】 なし						
【成績評価の方法】 受講態度:30点、テスト:70点						